作成日：　2014年5月20日
改定日：

製品安全データシート

1．製品及び会社情報

製品名	ワイドウェイEX粒剤
会社名	保土谷アグロテック株式会社
住所	〒104-0028　東京都中央区八重洲2-4-1　常和八重洲ビル9階
担当部門	研究開発部
電話番号	03-5299-8225
FAX番号	03-5299-8285
電子メールアドレス	info@hodogaya-agrotech.co.jp
緊急連絡電話番号	03-5299-8225
推奨用途及び使用上の制限	非農耕地用除草剤 農薬登録以外の使用は不可

2．危険有害性の要約

GHS分類区分

健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分外
	発がん性（結晶質シリカ）	区分1A
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1（呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（呼吸器系、腎臓）
環境有害性	水生環境有害性	区分1
	水生環境有害性（慢性）	区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報
H350　発がんのおそれ
H370　臓器（呼吸器系）の障害
H372　長期または反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害
H316 軽度の皮膚刺激
H320　眼刺激
H400　水生生物に非常に強い毒性
H411　長期的影響により水生生物に毒性

注意書き
安全対策
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P261)
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
指定された個人用保護具を使用すること。(P281)
取り扱い後良く手を洗うこと。(P264)
環境への放出を避けること。(P273)

応急措置
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。(P308+P313)
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。(P314)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる
場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
皮膚刺激が生じた場合は医師の診断/手当を受けること。(P332+P313)
眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当を受けること。(P337+P313)
漏出物を回収すること。(P391)

保管　施錠して保管すること。(P405)

廃棄　内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の
廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
農薬の種類名	シアナジン・DCBN・DCMU粒剤
有効成分の化学名と分子式	シアナジン：2-（4-クロロ-6-エチルアミノ-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ）-2-メチルプロピオノニトリル；C9H13ClN6 DCBN：2，6－ジクロロチオベンザミド；　C7H5Cl2NS DCMU：3－（3,4-ジクロロフェニル）－1,1－ジメチル尿素；C9H10Cl2N2O
化審法整理番号	シアナジン： DCBN：　(3)－2991； DCMU：　(3)－2194；優先評価化学物質 シリカ：　(1)-548

成分及び含有量

成分	含有量	PRTR法	安衛法	CAS番号
シアナジン	2.0%	指定化学物質	8-(3)-498	21725-46-2
DCBN	3.0%	非該当	4-(7)-459	1918-13-4
DCMU	6.0%	指定化学物質	名称通知	330-54-1
界面活性剤	2.5%			
鉱物質微粉（クレー）	54.5%			
（クレー：　内　結晶質シリカ	55%）		名称通知	7631-86-9
鉱物質微粉等	32.0%			

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	触れた部分を多量の水と石鹸で良く洗う。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
目に入った場合	この製品が眼に入った場合、水で数分間注意深く洗い 入った製品を洗い流すこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は 外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く 場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。気分が悪い時は直ちに医師の 診断／手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	初期火災には水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
特有の危険有害性	当該製品は分子中に[N、S、ハロゲン]を含有しているのため 火災時に、刺激性もしくは有毒なガスを放出するので 消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
特有の消火方法	消火作業は風上から行い、火災発生場所の周辺に関係者以外 の立ち入りを禁止する。 消火のための放水等により環境に影響を及ぼす物質が流出しない よう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	消火の際は必ず保護具を着用し、燃焼または高温により 有毒なガス（一酸化炭素、窒素や硫黄の酸化物、ハロゲン 化合物のガス等）が生成するので、呼吸保護具を着用する。 消火活動は風上から行い有毒ガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	室内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣 保護マスク等を着用すること。
環境に対する注意事項	環境への放出は避けること。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
除去方法	漏出したものをすくいとり、または掃き集めてドラム缶等に回収する。

廃棄は内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた
専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い	安全取扱注意事項	眼、皮膚、衣類につけないこと。 換気の良い場所で取り扱う。適切な保護具（保護衣、保護眼鏡、保護手袋 保護マスク等）を着用しする。作業後は、手、顔などを良く洗う。
保管	安全な保管条件	容器を密閉し換気の良い冷暗所に施錠して保管する。可燃物を 近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度　　未設定

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

日本産衛学会 （2009年版）	吸入性結晶質シリカ	0.03mg/m3
ACGIH(2010年版)	TWA	0.025mg/m3（石英）

設備対策	局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに、目の 洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	保護メガネを着用する。他状況に応じた適切な保護具 （保護マスク、防塵マスク、保護衣、ゴム手袋等)を着用する。
衛生対策	取扱い後は手足、顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをするとともに 衣服を交換すること。 作業時に着用した衣類等は、他のものと分けて洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観:	形状	細粒
	色	類白色
比重:		0.9
pH		8.9
引火点		データ無し

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の貯蔵・取り扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	情報無し
避けるべき条件	情報無し
混触禁止物質	情報無し
危険有害な分解性生物	燃焼により一酸化炭素、窒素や硫黄の酸化物、 ハロゲン化合物のガス等が発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性経口毒性	マウス雄雌	LD50　5000mg／kg以上
	ラット雄雌	LD50　5000mg／kg以上
経口（根拠）	急性毒性(経口)　LD50＞5000mg／kg（マウス、ラット雌雄）より急性毒性（経口）－区分外とした。	
急性経皮毒性	ラット雄雌	LD50　2000mg／kg以上
経皮（根拠）	急性毒性（経皮）　LD50＞2000mg／kg以上（ラット雌雄）より急性毒性（経皮）－区分外とした。	
皮膚刺激性	ウサギ	非常に軽度の紅斑（1匹／6匹）24時間以内に回復
眼刺激性試験	ウサギ	軽度の刺激性あり。（結膜発赤、浮腫が認められる。） （刺激反応は7日後にすべて消失）
皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし

発がん性	混合物の成分の発がん性－区分1Aの濃度が0.1%以上のため発がん性－区分1Aとした。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回暴露）－区分1（呼吸器系）の濃度が1%以上のため特定標的臓器毒性（単回暴露）－区分1（呼吸器系）とした。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復暴露）－区分1（呼吸器系）の濃度が1%以上のため特定標的臓器毒性（反復暴露）－区分1（呼吸器系）とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復暴露）－区分1（腎臓）の濃度が1%以上のため特定標的臓器毒性（反復暴露）－区分1（腎臓）とした。

12. 環境影響情報

環境有害性
水生環境有害性（急性）：
緑藻類の毒性データにより区分1とした。

水生環境有害性（長期間）：
慢性区分1に分類される成分について単純加算法を用いて成分合計を算出した結果、25%以上となるので区分2とした。

生態毒性　水生環境有害性（急性）：区分1(緑藻類への有害性)

コイ	LC50（96hr）　190mg／L
オオミジンコ	EC50（48hr）　60mg／L
緑藻類 （藻類生長阻害試験）	
	EbC50 (0h-72h)　0.13mg/L

13. 廃棄上の注意

空容器を廃棄する場合は、内容物を使いきった後に適切に処理する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れがないことを確かめる。荷崩れ防止を確実に行う。転倒、落下、破損がないよう積み込む。

15. 適用法令

＊農薬取締法	農薬登録番号 20139
＊毒物及び劇物取締法	シアナジン；劇物　指2-32-(26)　但し、本製剤は50%以下含有なので該当しない
＊化審法	DCBN：整理番号；(3)－2991 DCMU：整理番号；(3)－2194；優先評価化学物質 シリカ：(1)-548
＊労働安全衛生法	シアナジン：整理番号；8-(3)-498 DCBN：整理番号；4-(7)-459 DCMU第57条の2第1項名称通知対象化合物；4-(13)-42 シリカ：安衛法57条の2第１項　通知対象物質　政令番号312
＊特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進に関する法律（PRTR法）	シアナジン：第2条第1種指定化学物質（政令指定番号91） DCMU；第2条第1種指定化学物質（政令指定番号169）

16. その他の情報

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成した一般的取り扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。ヒトに対する危険、有害性の評価はかならずしも充分ではありませんので取り扱いには充分注意を払ってください。